

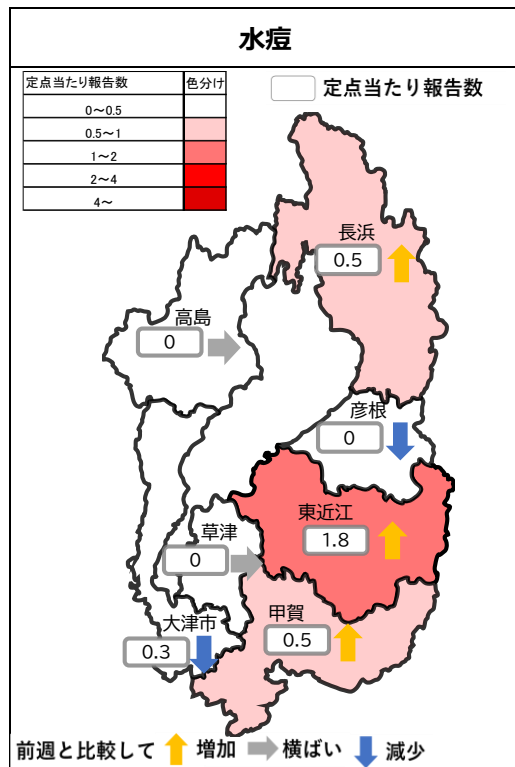


1. 今週の主な動向

- 日本紅斑熱が1例報告されています。日本紅斑熱は、マダニに刺咬されることで感染する感染症です。野外で活動する時は、熱中症対策のうえ長袖長ズボンを着用し、肌の露出を少なくすると共に、ダニ除けスプレーを使用する等の対策をお願いします。ダニ媒介感染症の予防対策について詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/yakuzy/331730.html>
- 水痘に関して、東近江保健所圏域では定点当たり報告数が注意報開始レベルである「1」を超えています。また、学校等欠席者・感染症情報システムでは欠席者登録数の多い疾患として報告されていますので、引き続きご注意ください。予防方法等の詳細は下記 URL をご覧ください。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryohukushi/yakuzy/343536.html>

2. 保健所圏域別 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数の推移（マップ）

特に注意を要する感染症※について、保健所圏域別の定点当たり報告数および前週との比較をマップでお示します。



- ※ 「特に注意を要する感染症」とは、例年より非常に多い報告数である疾患や、季節性があり今後流行が予測される疾患、その他全国的な流行状況等から注意を要すると感染症情報センターで判断した疾患を指す
- ※ 定点当たり報告数の色分けは、疾患ごとに、過去10年の県内における発生状況や、注意報および警報等の基準値等を加味して5段階に区分
- ※ 図内の矢印は、前週の定点当たり報告数と比較して増減が5%未満である場合を「横ばい」、5%以上の増加を「増加」、5%以上の減少を「減少」と定義

【資料編】

1. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別 (令和8年および令和7年に報告のあった疾患) ^{i, ii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			47(+3)	22	4	311(+2)	6(+1)	1	0	4,886	141	14,480	
			3.37	6.39	1.13	2.16	4.96	3.96	0.70	0.00	3.95	10.10	11.70
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○		8(+1)	2	2(+1)	1	0	3	0	0	702	45	4,319
			0.57	0.58	0.57	0.72	0.00	1.98	0.00	0.00	0.36	3.22	3.49
四類 E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	236	2	585
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36	0.14	0.47
A型肝炎	○	○	2	0	0	0	0	2	0	0	77	0	133
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	1.32	0.00	0.00	0.36	0.00	0.11
コクシジオイデス症			0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	7
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01
デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	29	4	164
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.29	0.13
日本紅斑熱	○	○	1(+1)	0	1(+1)	0	0	0	0	0	45	2	674
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.14	0.54
ライム病			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01
レジオネラ症			4	2	0	0	0	2	0	0	612	35	2,413
			0.29	0.58	0.00	0.00	0.00	1.32	0.00	0.00	0.49	2.51	1.95
レプトスピラ症	○	○	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	63
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.05
五類 アメーバ赤痢			1	0	1	0	0	0	0	0	169	4	449
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.29	0.36
ウイルス性肝炎	○		1	0	0	0	1	0	0	0	66	0	260
			0.07	0.00	0.00	0.00	0.45	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.21
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	344	5	1,197
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	0.36	0.97
急性脳炎			1	1	0	0	0	0	0	0	166	5	630
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.36	0.51
クリプトスポリジウム症			0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	23
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.02
クワイツフェルト・ヤコブ病	○	○	2	0	2	0	0	0	0	0	61	3	184
			0.14	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.21	0.15
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		10	1	4	0	3	2	0	0	534	30	1,382
			0.72	0.29	1.13	0.00	1.35	1.32	0.00	0.00	0.43	2.15	1.12
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)			1	0	0	1	0	0	0	0	307	8	866
			0.07	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.57	0.70
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○		4	0	3	0	0	1	0	0	203	11	650
			0.29	0.00	0.85	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.16	0.79	0.53
侵襲性髄膜炎菌感染症	○	○	1	0	1	0	0	0	0	0	23	1	84
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.07	0.07
侵襲性肺炎球菌感染症	○		20(+2)	5(+1)	6	1	5(+1)	2	1	0	1207	48	3,391
			1.43	1.45	1.70	0.72	2.25	1.32	0.70	0.00	0.97	3.44	2.74
水痘(入院例)	○	○	4	1	1	0	1	0	0	1	281	5	665
			0.29	0.29	0.28	0.00	0.45	0.00	0.00	2.31	0.23	0.36	0.54
多剤耐性緑膿菌感染症	○	○	1(+1)	1(+1)	0	0	0	0	0	0	37	-	-
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	-	-
梅毒	○		31(+2)	217(+1)	1	4(+1)	0	7	0	3873	75	13530	
			2.22	0.58	4.81	0.72	1.80	0.00	4.89	0.00	3.13	5.37	10.93
播種性クリプトコックス症	○		2	0	0	1	0	0	1	0	68	4	178
			0.14	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.70	0.00	0.05	0.29	0.14
破傷風	○	○	2	1	1	0	0	0	0	0	33	0	94
			0.14	0.29	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.08
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○		1	0	1	0	0	0	0	0	35	4	92
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.29	0.07
百日咳	○		80(+6)	20(+4)	2913(+1)	7(+1)	3	0	8	2708	803	89387	
			5.73	5.81	8.20	9.38	3.15	1.98	0.00	18.50	2.19	57.50	72.20
麻しん	○		2	0	0	0	0	2	0	0	479	5	265
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	1.32	0.00	0.00	0.39	0.36	0.21

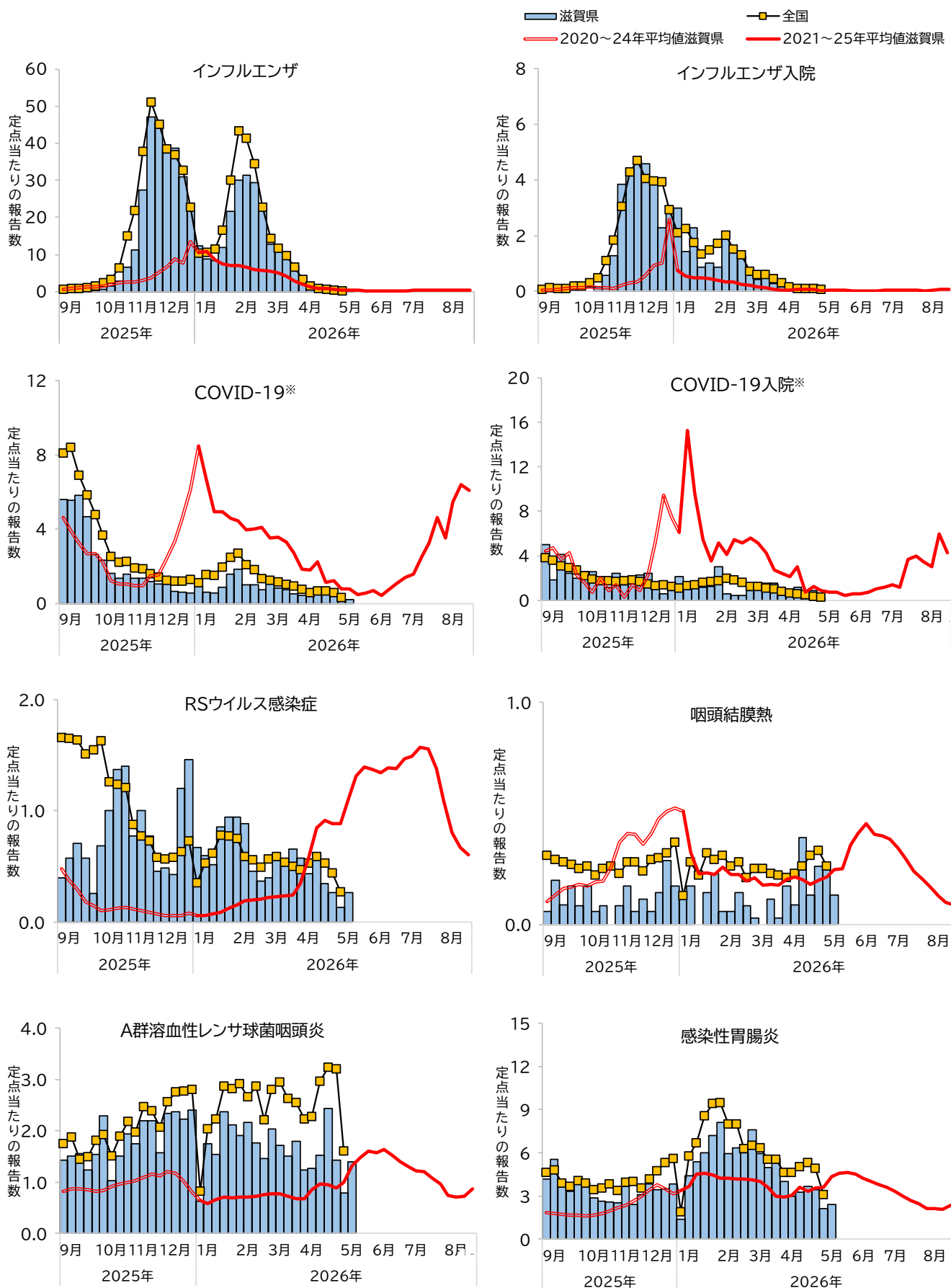
- i. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。なお、上段の()内の数値は、前週からの増加数を示しています。
- ii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値ⁱⁱⁱ

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県						保健所別 (vi)							基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (iv)	例年より 多い (v)	例年より 非常に 多い(v)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島	全国 (前週)	警報 開始	警報 終息	注意報
急性呼吸器 感染症 (ARI) (定点数:39)	急性呼吸器感染症 (ARI)	53.05	36.82	43.79	-	-	-	29.90	47.18	46.00	51.50	31.75	105.33	0	36.32	-	-	-
	インフルエンザ	0.36	0.18	0.18				0.70	0	0	0	0	0	0	0.18	30	10	10
	新型コロナウイルス 感染症	0.51	0.21	0.21	-			0.30	0.09	0	0.33	0.50	0	0	0.34	-	-	-
小児科 (定点数:23)	RSウイルス感染症	0.26	0.13	0.26	-			0.17	0.67	0	0	0.50	0	0	0.27	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.26	0.26	0.13				0	0	0	0.25	0	1.00	0	0.26	3	1	-
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	1.43	0.78	1.39		○		0.50	1.17	2.00	0.75	1.50	6.00	0	1.61	8	4	-
	感染性胃腸炎	3.43	2.13	2.39				1.00	2.33	2.00	0.75	9.50	4.00	1.00	3.09	20	12	-
	水痘	0.39	0.22	0.48		○		0.33	0	0.50	1.75	0	0.50	0	0.39	2	1	1
	手足口病	0.13	0.13	0.35				0	0	3.00	0	1.00	0	0	0.35	5	2	-
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.04	0	0.13				0	0.17	0.50	0.25	0	0	0	0.05	2	1	-
	突発性発しん	0.22	0.30	0.35	-	○		0.33	0.17	0	1.00	0.50	0	0	0.24	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.06	6	2	-
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.09	0.04	0.04				0	0	0	0	0	0.50	0	0.03	6	2	3
眼科 (定点数: 9)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	-	
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.36	8	4	-	
基幹 (定点数: 7)	細菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	0.14	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0.17	-	-	-	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0.14	-	○	○	1.00	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.06	-	-	-
	インフルエンザ入院	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.07	-	-	-
	COVID-19入院	0.86	0.14	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.29	-	-	-

- iii. 定点把握疾患:人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- iv. 定点当たり報告数が「警報基準値」に達した時に警報(「警」)を発令します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報(「注」)を発令します。
警報・注意報のない疾患については、「-」と標記しています。
- v. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)。
新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
急性呼吸器感染症(ARI)は、過去5年のデータがなく、昨年のデータもないため、「例年より多い」および「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
- vi. **赤字斜字**: 警報開始基準値以上、**紫字斜字**: 注意報基準値以上

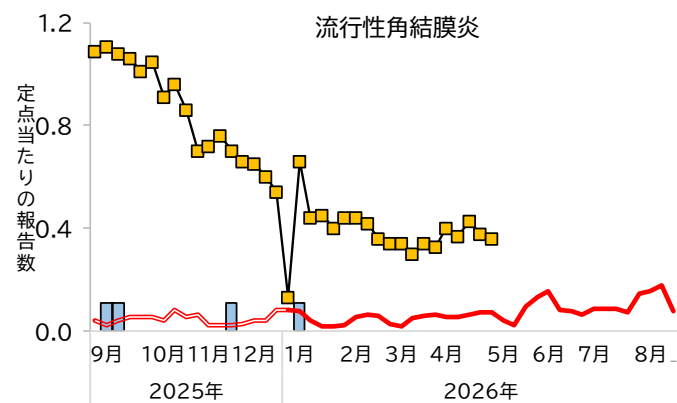
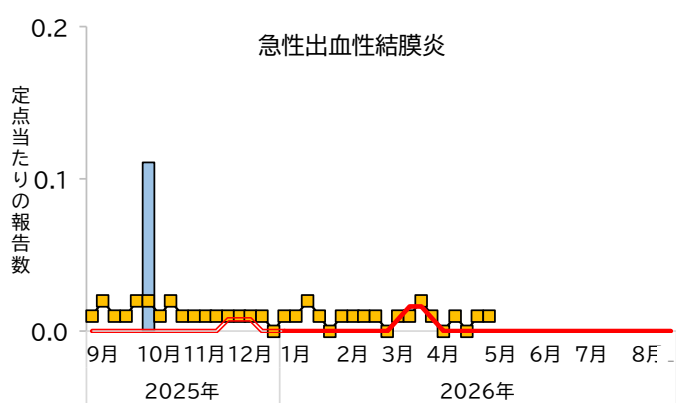
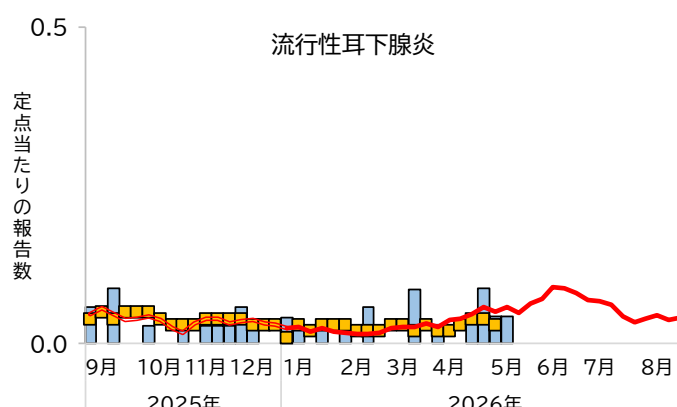
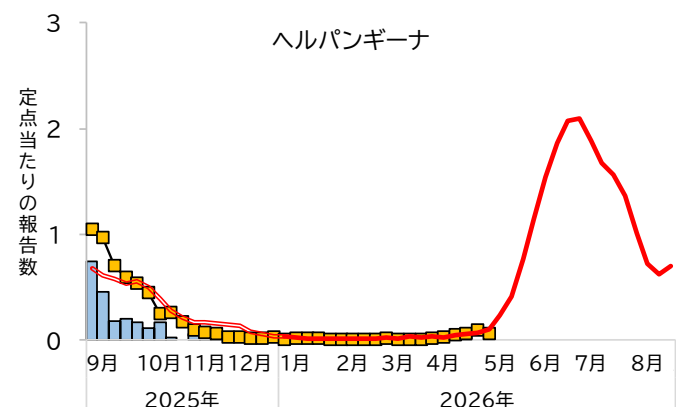
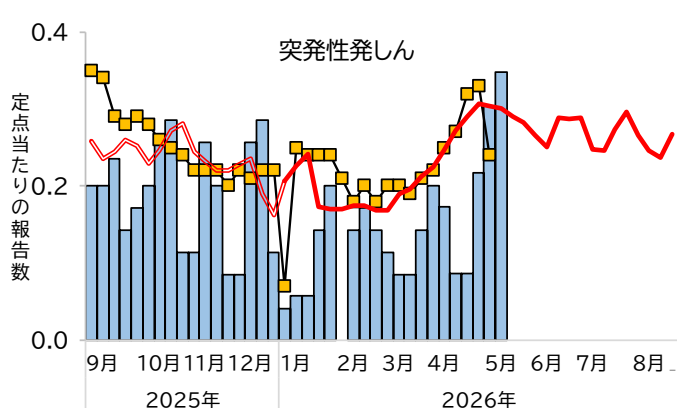
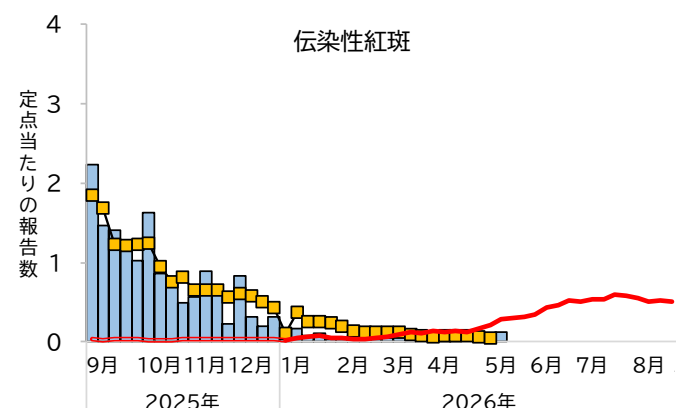
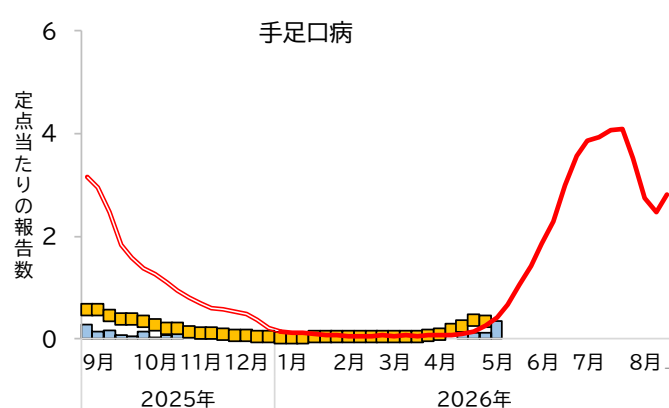
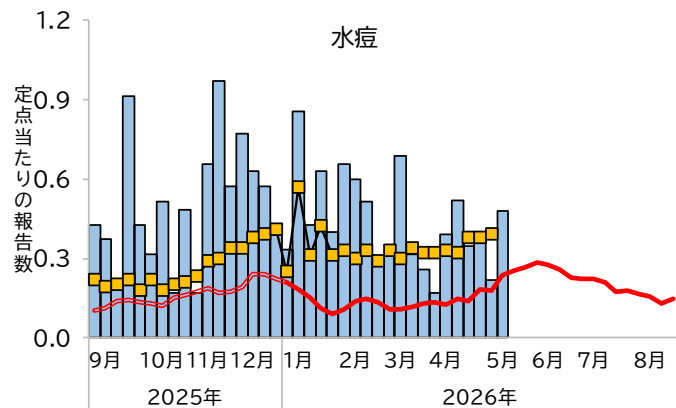
4-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



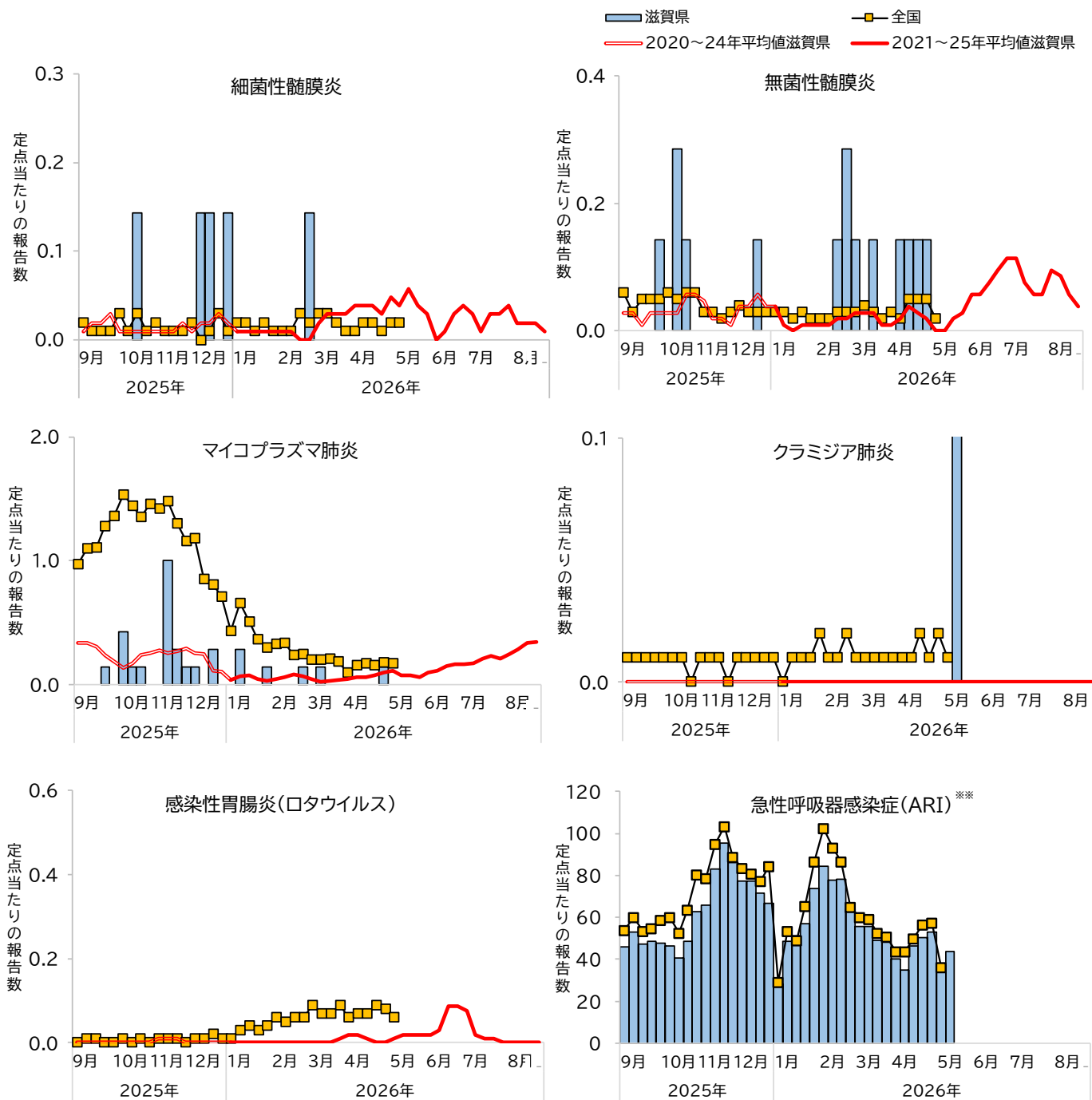
※COVID-19 は、過去5年分のデータがないため、『2020年～24年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2024年』の値、『2021年～25年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2025年』の値を掲載しています。

4-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国
— 2020~24年平均値滋賀県 — 2021~25年平均値滋賀県



4-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



※※急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から報告が始まったため、過去5年のデータ(折れ線グラフ)はありません。

5. 病原体検出情報

(1) 病原体定点検出情報 (検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は[月報](#)・[病原体情報](#)に掲載しています。)

- ・第17週～第19週採取の複数検体からヒトメタニューモウイルスが検出されています。(上気道炎、下気道炎)。
- ・第18週、第19週採取の検体からRSウイルス(A,B)が検出されています。(RSウイルス感染症、上気道炎)。

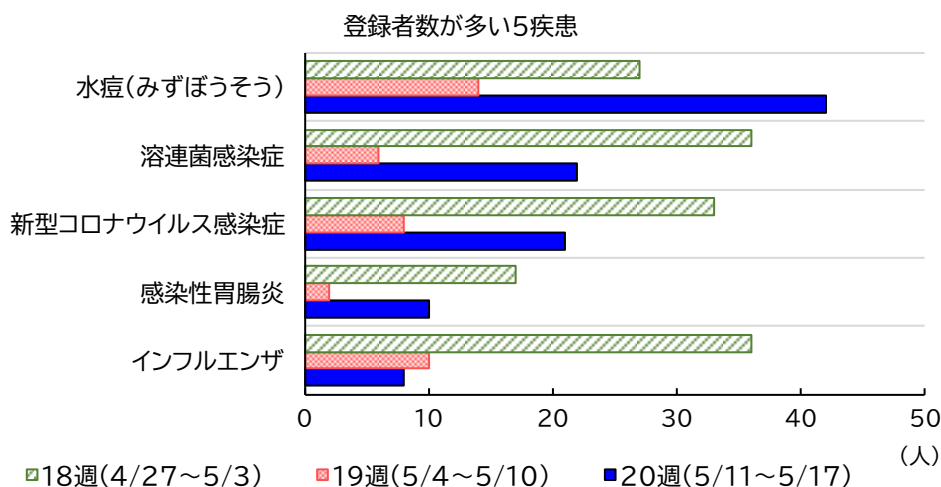
(2) 定点以外の病原体検出情報 (衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報)

- ・第19週採取の検体より、*Rickettsia japonica* が検出されています。

6. 今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。

入力いただいたデータを集計して掲載しています。



7. 参考情報

【tableau public】 県内の全数把握疾患および定点把握疾患の報告状況について、詳細を公表しています。

<https://public.tableau.com/app/profile/.49137914/vizzes>



【全国情報】

『感染症発生動向調査 週報(IDWR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

『病原体検出情報(IASR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

『インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/infu/school/flulike.html>

【届出対象疾患・届出基準】

『感染症法に基づく医師の届出のお願い』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou11/01.html

- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP：<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>

